

eV Embedded Learning Program eELP

／ 開発者編-別冊① ／
開発環境導入マニュアル

～ QCDを実現する組込ソフトウェア開発～



安全に正しくお使いいただく為の注意事項

取扱い上の注意

安全のため以下の注意事項を守ってください。

- ◆ 濡れた手で作業、操作をしないでください
- ◆ コンセント端子部に直接手を触れないでください
- ◆ 電源ONの状態では部品に触れないでください

使用上の注意

故障につながりますので、以下の注意事項を守ってください。

- ◆ 基板、ACアダプタに水気のものや粉末を
かけないでください
- ◆ 基板に衝撃を与えないでください
- ◆ 分解したり修理したりしないでください
- ◆ 静電気は故障の原因になりますので
ご注意ください

No.	内容	ページ
01	開発環境導入	1～12

1. 開発環境の準備

次にルネサスエレクトロニクス社から無償提供されている開発環境をホームページからダウンロードします。

(1) 開発環境のダウンロード

<開発環境>

- ① Home / 製品情報 / 開発ツール / コンパイラ / アセンブラ / RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (High-performance Embedded Workshopつき) ※1

RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (High-performance Embedded Workshop つき)	最新Ver.: V.1.02 Release 01 リリース: 2012/03/16	コンパイラ: RX Standard Toolchain 最新Ver.: V.1.2.1.0 リリース: 2012/03/16
--	---	---

- ② Home / 製品情報 / 開発ツール / エミュレータ / E1エミュレータ
RX E1/E20 エミュレータデバッグ

RX E1/E20 エミュレータ デバッグ V.1.03.00	デバッグアップデート	Oct.19.12	RXファミリ用E1およびE20エミュレータ用の制御ソフトウェアで、統合開発環境 High-performance Embedded Workshop 上で使用します。 この製品のインストーラはデバッグだけでなく、High-performance Embedded Workshopもインストールします。
------------------------------------	------------	-----------	--

- ③ Home / 製品情報 / 開発ツール / フラッシュプログラマ / フラッシュ開発ツールキット Flash Development Toolkit ※2 (Programming GUI)

フラッシュ開発ツールキット Flash Development Toolkit (Programming GUI)	フラッシュメモリ用書き込みソフト。 ※SuperH RISC engineファミリ、RXファミリ、R8Cファミリ、M16Cファミリ、H8SXファミリ、H8Sファミリ、H8ファミリ、740ファミリに対応。
---	--

※1 CS+や、e2studioも利用可能です。

※2 E1エミュレータを使用しない場合は③をダウンロードする必要があります。

1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

使用するマイコンに合わせてHigh-performance Embedded Workshop（以下、統合開発環境）を起動し、設定をします。
今回はRX621マイコンの設定をします。

以下の手順（手順1～19）に沿って、設定をしていきましょう。
統合開発環境を立ち上げて、以下の操作を実施します。

<手順1>

『新規プロジェクトワークスペースの作成（オプションボタン）』をクリックします。



<手順2>

『OK』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順3>

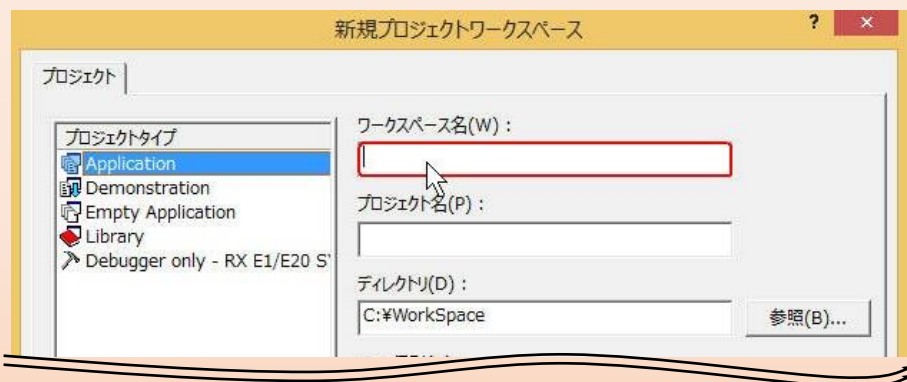
『Application (データ項目)』をクリックします。



<手順4>

『ワークスペース名 (W)』に名称を入力します。

入力すると『プロジェクト名 (P)』、『ディレクトリ (D)』にも自動的に反映されますので、内容に問題ないことを確認します。



1. 開発環境の準備

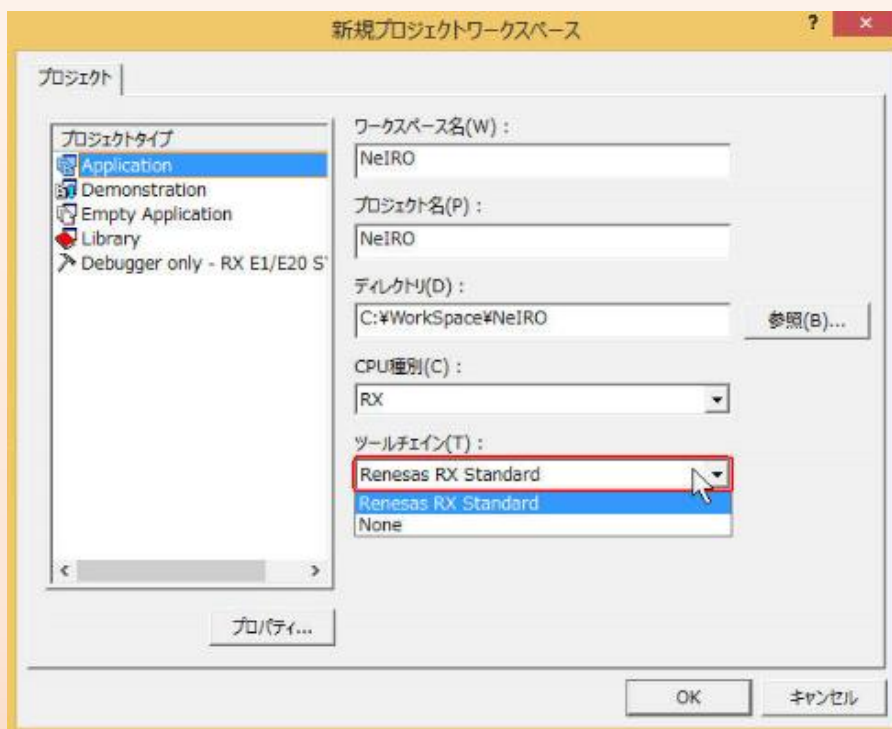
(2) 開発環境の設定

<手順5>

『CPU種別 (C) 』のプルダウンから『RX』を選択します。

<手順6>

『ツールチェーン (T) 』のプルダウンから『Renesas RXStandard』を選択し、『OK』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順7>

『ツールチェーンバージョン』を選択します。

<手順8>

『CPUシリーズ』、『CPUタイプ』のプルダウンから『RX600』、『RX62N』を選択し、『次へ (N) >』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順9>

デフォルト値のまま『次へ(N)>』をクリックします。

<手順10>

デフォルト値のまま『次へ(N)>』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順 1 1 >

『ハードウェアセットアップ関数生成』のプルダウンから『C/C++ source file』を選択し、『次へ (N) >』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順 1 2>

デフォルト値のまま『次へ (N) >』をクリックします。

<手順 1 3>

デフォルト値のまま『次へ (N) >』をクリックします。

<手順 1 4>

デフォルト値のまま『次へ (N) >』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順 1 5 >

『ターゲット』から『RX E1/E20 SYSTEM』を選択し、『ターゲットタイプ』、『ターゲットCPU』が『RX620』、『RX62N』になっている事を確認し、『次へ (N) >』をクリックします。



1. 開発環境の準備

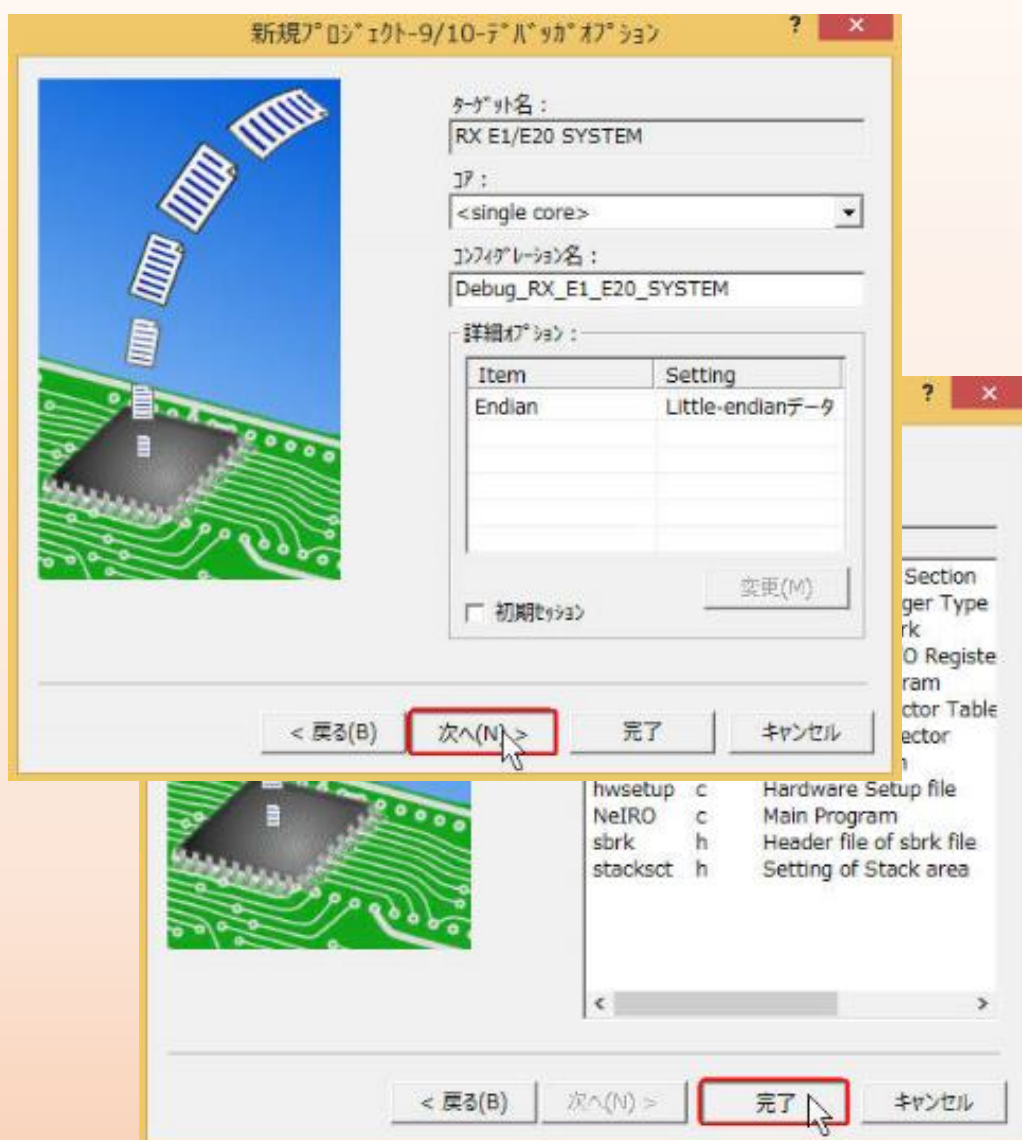
(2) 開発環境の設定

<手順 1 6 >

デフォルト値のまま『次へ (N) >』をクリックします。

<手順 1 7 >

デフォルト値のまま『完了』をクリックします。



1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順 1 8 >

プロジェクトの概要が表示されますので、内容を確認し、『OK』をクリックします。



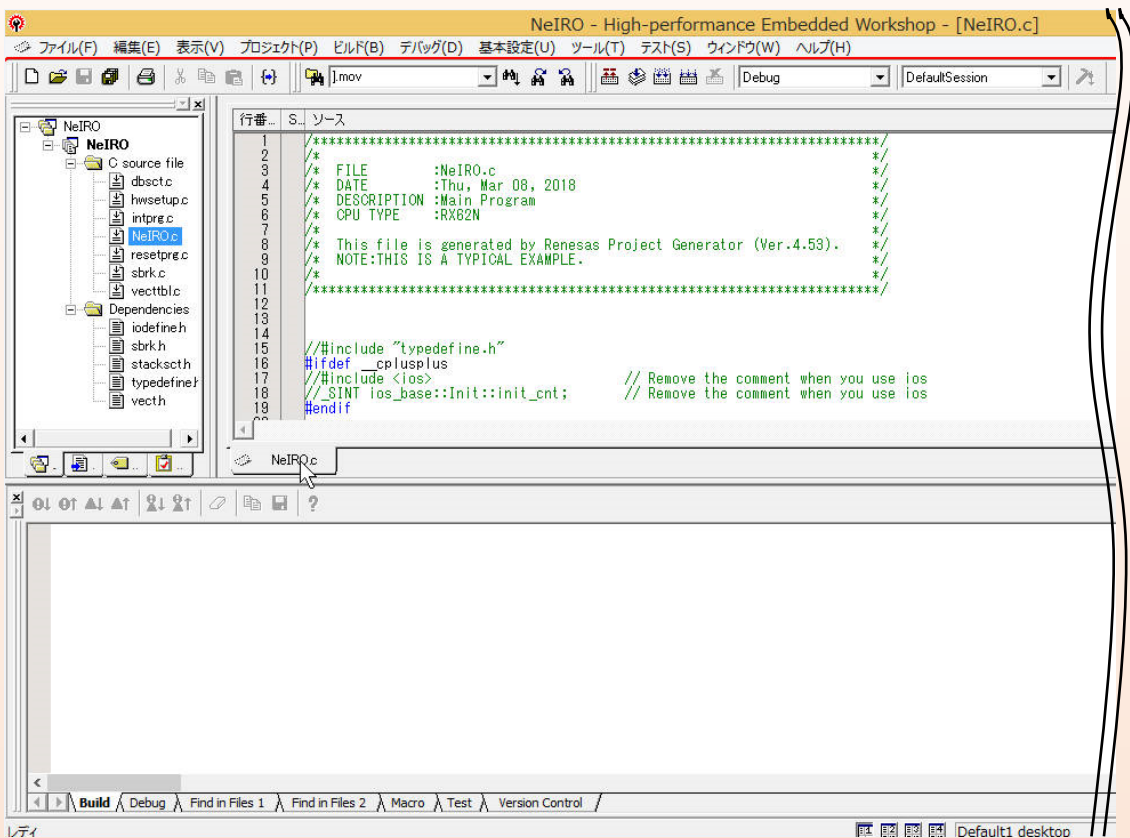
1. 開発環境の準備

(2) 開発環境の設定

<手順 19>

プロジェクトが立ち上がり、コードの編集ができるようになります。

Main関数の記述や関数の追加はこの画面から実施します。



開発環境の準備はこれで完了です。

eV Embedded Learning Program
eELP
開発者編-別冊①
開発環境導入マニュアル
QCDを実現する組込ソフトウェア開発

2021年12月20日 初版発行

作成・編集



イー・バレイ株式会社

愛知県名古屋市昭和区福江2-9-33

名古屋ビジネスインキュベータ白金

mail : neiro@e-valley.co.jp

TEL. 052-884-2021(代表)

FAX. 052-884-2022

URL : <https://www.e-valley.co.jp/>

・本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、デジタル化することを禁じます。

Printed in Japan

eELP

